



日	月	火	水	木	金	土
12/29 (土) ~ 1/3 (木)		1 元旦	2 年末年始 休館	3	4	5 3じのおはどん
6	7 休館日 七草	8	9 4じのおはすい	10	11 鏡開き	12 3じのおはどん
13 7つおか市 成人式	14 成人の日	15 休館日	16 4じのおはすい	17	18	19 3じのおはどん
20 7つおか 寒たまり	21 休館日	22	23 4じのおはすい 11じのおはどん	24	25	26 3じのおはどん
27	28 休館日	29	30 4じのおはすい	31	開館時間 (12月~2月) 平日 9:30~18:00 土日祝日 9:30~17:00 休館日・毎月月曜日	

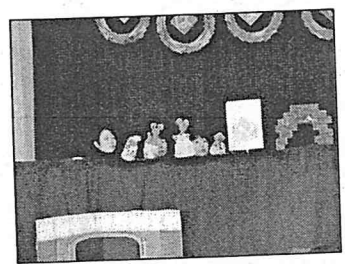
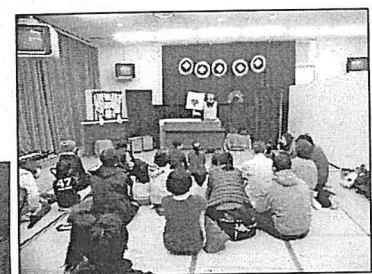
冬のおはなし会 きてくれてありがとう!

ももつと雪がふる 12月8日(土)・9日(日)に
冬のおはなし会がひらかれました。大雪の中
2日間で101名ものみなさんがいらしゃいました

1日め ハンカチぬすみ 2日め こんにちワニ

の後は『番ぬすみのやからせん』
の人形劇。ちびとネコはこわかった
けど、やからせんのかつやくにみんなよろこび
ました。やからせん工作も楽しかったよ。

あけましておめでとうございます



ABC English えいごでのおはなし会もたのしかったよ!

12月16日(日)には
えいごで絵本を
きくおはなし会が
ありました。
こどもたちもえいごで
あいさつ。たのしかったです。

- ★ELEPHANT BLUE ぞうのさんぽ
- ★CRICKET へびのりりり
- ★The Rainbow Fish にじいろのさかな

としよかんにはえいごの絵本も
いろいろあります。ぜひかいてみてね。



館内 おはなし会のご案内

おはすい
(おはなしすいようび)
毎週 水よう日
ごじ4じ~4じ30ふん

おはちび
(おはなしちびようび)
第4水よう日
ごぜん 11じ~11じ30ふん

おはどん
(おはなしどようび)
毎週 土よう日
ごじろじ~3じ30ふん

絵本や紙いばい中心
第3水よう日は
昔語りの日

0~1才向けおはなし会
紙いばいや
季節のおはなしや
絵本など

1F えいご
コーナーで
やっています

どちゅうの
入退室自由
あきがるに
きてね。

祝祭日が重なた
ときは翌日

館長の



こども室の本棚から



あけて
おめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「亥年」です。亥年の亥は、いのちが閉じ込められている状態を言うとか。つまり種の状態ですね。なので、この年は成すべきことのための準備期間という意味合いもあるそうです。はて、何を準備したものか・・・。

さて、今月の紹介本ですが、イノシシの本と考えると、私の頭の中には「かいけつゾロリ」のイノシシとノシシが浮かんできちゃうので、今年は干支の本は諦めることにします。

冬に読みたい絵本のひとつ『きこりとおおかみ』(山口智子再話 堀内誠一絵 福音館書店 1977年刊)を紹介いたします。フランス民話で、実に40年前の絵本です。

ある冬の夕暮れ、おなかをすかしたおおかみが、森の中をうろついておりました。一方、きこりの夫婦は、スープを作るのに夢中です。



「まゆとうりんこ」
富安陽子 文
降矢なな 絵
福音館書店
2013年

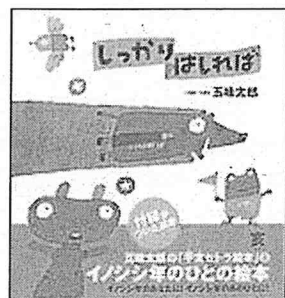


「きこりとおおかみ」
山口智子 再話
堀内誠一 絵
福音館書店
1977年

その後、開いたドアからおおかみが入ってくるのですが、きこりの夫婦は、おおかみの頭にスープをぶっかけてやっつけてしまいます。でも、お話はここでは終わりません。その翌年の冬、きこりは、あたまのはげたおおかみとその仲間と森の中で出会います。きこりは木の上に逃れるのですが、絶体絶命！さて、どんな結末となりますか。読んでみて下さい。

ストーリーも軽妙で、魅力がありますが、なんとといっても、堀内氏の絵が素敵です。冬枯れの森の美しさ、おおかみの群れの怖さ、そしてその表情の豊かさ。最後の場面の暖かさ。大好きな絵本です。

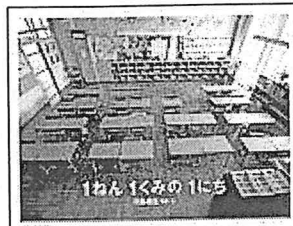
表紙には、頭から湯気を立てたおおかみが走って逃げるところが描かれています。こんな大切な場面、表紙に描いちゃっていいの？と思うのですが、この表紙を見たら、子どもたちが手に取りたくなるよね～とも思います。絵本の中には描かれていませので、その場面で、ちよいと表紙も見せてあげてくださいね。



「しっかりはしれぼ」
イノシシ年の人の絵本
五味太郎 作
クレヨンハウス
2005年

☆おはなしポケットメンバー おすすめ本☆

『1ねん1くみの1にち』 川島敏生(著) アリス館 2010年



娘(小1)と息子(年小)の最近のお気に入り絵本です。登校から朝の会、授業に休み時間、給食まで、小学1年生の一日を写真で追っています。子どもたちの心の声も可愛いです。娘は自分の学校と比べて、息子はイメージで楽しんでいる様子。読み聞かせというより、子どもと眺めて対話を楽しむ一冊です。

『こんこんさまにさしあげそうろう』 森はな(作) 梶山俊夫(絵) PHP研究所 1982年

私が低学年の時の必読図書で、毎年大寒に読みたくなる本です。

真冬の山で、飢えと寒さにふるえる子ギツネのために、母さんギツネは食べ物を探しに出ました。しかし家畜を襲うも犬に阻まれ、池も凍って魚が採れません。そこへお稲荷様にお供えをする「のせぎょう」の囃子の音が聞こえ……。優しいストーリーと絵に、心があたたかくなります。それにしても大人になると、ギツネ親子の描写がせつなくて辛いです。



『よかったね ネットくん』 レミー・シャーリップ(著) やぎたよしこ(訳) 偕成社 1997年



パーティーの招待状をもらったネットくん、でも会場は遠いフロリダ。友達に飛行機を貸してもらってよかったと思ったら、まさかの空中爆発！カラーとモノクロで、幸運と不運が交互に描かれていてスリル満点です。文章も簡潔で読みやすく(英文も載っています。比べてみると名訳！)、テンポがいいのでおすすめです。息子もお気に入りになりました。

おはなしポケット たかはしゆか

～てあそび・わらべうた やってみよう～

『さよなら あんころもち』
シンプルなお手あそびです！ おはなし会のシメにもぴったりですよ。

手のひらを
あみせて
くるくる
回します



もちを
まるくする
しゅさを
しましょう！



「こ」で隣の人に
手をのせます。
このくりかえし。
輪になってやっても
いいですね。

♪ さよなら あんころもち またきなこ